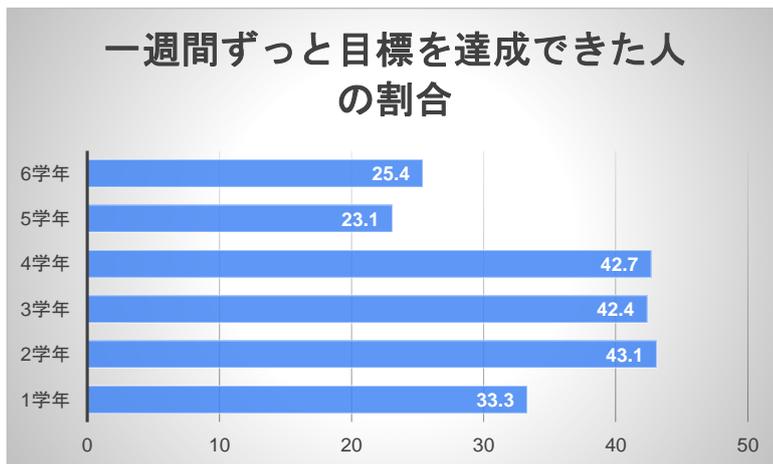




## 1 学期ノーメディアデーの取組結果

白子中学校区小中学校共通の取組「生活習慣改善週間」に合わせ、6月に実施しました「ノーメディアデー」の取組結果をご報告いたします。

この取組は、子どもたちが、ゲームや動画、SNS等から生活における主体性を取り戻し、家族の団らんや親子読書等によって家庭生活の充実を図ること、視力低下等、健康面の悪影響を予防することを目的としたものです。本年度は、子どもたちがICT端末を持ち帰って学習に活用していることや、メディアを完全に遮断する生活はもはや現実的でないことから、子どもたちが個々の実情に合わせた目標を設定し、それを一週間守るという取組といたしました。



結果をみますと、高学年において目標達成の割合が低くなっていることが心配です。学校だより3号でも話題にさせていただきましたが、高学年の子どもたちのご家庭でのSNS使用率は、年々高くなっていると思われます。メッセージが来ると、相手にすぐ返信しないといけないという思いから、自分の計画

通りに時間を使えなかったというケースもあったのではないかと考えられます。また、SNS上でのトラブルが、本校の子どもたちの間でも、一学期も起こっています。

この夏休み期間の子どもたちの生活を充実させるためにも、SNS等メディアの使用ルールについて、今一度ご家庭でしっかり考え、話し合っていたいただければと思います。宜しくお願いいたします。

## 6月4日 サツマイモ苗植え体験 | 1学年

青空の下、たくさんのふるさとボランティアの皆さん、学習支援ボランティアの皆さんにお世話いただき、地域の方に畑をお借りして、1年生の子どもたちが、今年もサツマイモの植え付けをさせていただきました。





この日の植え付けのために、ふるさとボランティアの皆さんが、事前に、サツマイモの苗を用意し、畑を耕してマルチをかけ、苗を差し込みやすいように穴も開けてくださいました。

子どもたちは、教えていただいた通り、穴に苗を差し込み、苗と土とが密着するようにしっかりと押さえていました。子どもたちから、「イモのつるって、根がないけど、大丈夫かな。」「土に植えたら生えてくるんやで。」と会話が聞こえてきました。なるほど、苗と言っても、子どもたちが植えたつるには、根はありません。幼稚園・保育園やこれまでの生活経験から、子どもたちの中に「植物には、根、茎、葉がある」という概念がすでに形成されていることを感じました。「本当に根が生えてくるのかな」「つるのどこから生えてくるのかな」、子どもたちの素朴な疑問を大切に、今後の生活科の学習が展開されると面白いなと思いました。

秋の収穫を楽しみに、サツマイモの観察を子どもたちと続けていこうと思います。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



## 6月7日 火災避難訓練

火災に備えた避難訓練を実施しました。素早い火元の確認、子どもたちの迅速な避難、全員の安全確認、初期消火、延焼防止措置等、様々な作業をマニュアル通りに進められるか、しっかりと確認できました。子どもたちも、煙を吸わないように校舎内では姿勢を低くして、避難経路を確かめながら運動場に出てきていました。



## 6月11日 HONDA ヒートさんの出前授業 4学年



4学年のタグラグビーの指導に、HONDA ヒートさんに来ていただきました。この授業は、市スポーツ課の「出張!スポーツ出前授業」という企画によるもので、一流選手との交流を通して、スポーツへの関心を高め、その面白さを体感してもらうことが目的です。当日は、三重テレビの取材もあり、子どもたちも全力でプロ選手に向かっていました。



HONDA ヒートの皆さん、お世話いただいた皆様、ありがとうございました。

## 6月14日 交通安全教室 3学年



交通安全協会様、鈴鹿警察様に協力していただき、3年生の子どもたちが自転車の安全な乗り方について学習しました。

自転車で出発する際には、前、左、右だけでなく、後ろから車等が来ていないかもしっかりと確認するよう指導していただきました。また、ヘルメットが大切な命を守るためにとても重要であることも教えていただきました。交差点では、絶対に飛び出さず、必ず一時停止して、安全に運転してくださいね。交通安全協会様、鈴鹿警察様、ありがとうございました。

## 6月19日 田んぼや農具を見学させていただきました

ふるさとボランティアさんにお世話になり、校区西部の田んぼの様子と、大規模農家の森さんの農具小屋を見学させていただきました。



学校を出発して、伊奈富神社の前を通り、一色地区を超えると、田んぼがはるか向こうまで広がっています。雄大な田園風景にうっとりしましたが、足元の田んぼを見ると、たく

さんのタニシが動いているではありませんか。そうです。外来生物のジャンボタニシです。

稲の茎や畦(あぜ)にいっぱい付いている赤いたらこのようなものは、ジャンボタニシの卵です。ジャンボタニシは、植えて間もない頃の稲苗を食べてしまうのです。中には、すべっと食べつくされてしまった田んぼもあり、驚きました。5年生の子どもたちが植えさせていただいた田んぼもジャンボタニシの食害にあっていて、子どもたちも困っていたところでした。「なぜジャンボタニシが増えたのか」「ジャンボタニシを駆除する方法はないのか」「地域の農家の方々は、どんな対策を行っているのか」、子どもたちの中に考えなければならぬ問いが、早くもたくさん生まれてきました。



ふるさとボランティアさんに案内してもらって、さらに西に進み、中勢バイパスの下をくぐっていくと、鈴鹿サーキットのスタンドが見えてきました。すぐ近くまで上っていくと、大きな池がありました。稲生は、昔からの米どころ。そして、大きな川はありません。そのため、ため池がたくさん見られます。サーキット周辺や校区北部は、高低差を利用して稲生地域全体に水を送るのに、都合がよかったのでしょうか。サーキットのレーシングコース内側にも、ため池が残っており、そこからの水路の出口だと思われる水門も発見することができました。森さんの大きな田んぼでは、今(6月中旬)に田植えが行われていました。お米の種類や用途が違うのでしょうか。時期をずらす理由も、調べてみたいですね。



森さんの倉庫の中に入れてもらうと、大型トラクターやコンバインがあり、さらに奥には大きな長方形の機械がたくさん並んでいました。森さんから、それらの機械の説明や値段を教えてもらい、子どもたちも驚いていました。大規模な米作りを行う理由や一年の作業、その面白さ、苦労についてもお話いただき、子どもたちも真剣に聞き入っていました。



少子高齢化が進む日本で、大切な食糧生産である農業は、これからどのような形になっていくのでしょうか。子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。



森さん、ふるさとボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

## 6月19日 児童会主催「ドッジボール大会」



児童会主催の学年別ドッジボール大会が運動場で行われました。開会式では、6年生の人が、全校の子どもたちに向けて自分の言葉でしっかりと話すことができていると感心しました。

各学年でクラスの仲間と声をかけ合い、助け合ってプレーする姿がとても素敵でした。最

高学年6年生の試合では、投げるボールのスピードも速く、迫力のあるプレーがいっぱいでした。

仲間と協力して取り組んだことで、クラスの仲間とのつながりも深まったと思います。勝ち負けだけではない、素晴らしい成果がスポーツからは生まれます。児童会役員の皆さん、本当にありがとう！



## 6月25日 食育「食事のマナーを知ろう」1学年



栄養教諭の山田先生が、学期毎に各クラスで食育の授業を行っています。この日は、1年生の教室で、食事のマナーについて学習を進めていました。写真は、お箸の正しい持ち方を練習した場面

です。山田先生の指導で、正しいお箸の持ち方が上手にできるようになりました。給食やおうちでのご飯の時も、思い出してしっかり練習を重ねてくださいね。



## 6月28日 バイオレットアイリスさん出前授業6学年



鈴鹿バイオレットアイリスの選手の皆さんが稲生小学校へ来てくださり、6年生の子どもたちにハンドボールの面白さを教えてくださいました。ハンドボールは、バスケットと似ているところも多いですが、3歩まで歩くことができるそうです。また、攻撃側

がシュートを打つ際は、ゴールエリアラインの外側、またはエリア内に着地する前にボールを離さなければならないそうです。

選手の皆さんは体も大きく、動きも俊敏で、さすがプロというオーラがありました。子どもたちも、はじめのうちは緊張している様子でしたが、ボールパスやドリブルの練習を一緒にしながら会話を交わすうちに打ち解けられた様子でした。その後のゲームでは、選手から褒められるプレーもたくさんあり、ゴール型ゲームであるハンドボールの面白さをそれぞれなりに味わうことができたようです。

鈴鹿バイオレットアイリスの皆さん、ありがとうございました。

## 6月28日 鈴鹿の特産品大豆を知ろう 3学年

鈴鹿農協の方に来ていただき、大豆の栽培方法について教えていただきました。この企画は、3年生の国語の説明文教材で大豆を扱ったものがあることから、毎年、鈴鹿農協さんにご支援いただいているものです。今年も、フクユタカという品種の大豆をいただき、栽培することになりました。フクユタカは、日本の品種ですが、在来種ではなく、1980年（昭和55年）に育成された品種なのだそうです。高たんぱくのため、豆腐や油揚げの材料として用いられているそうです。また、広域適応性が高いとされ、主に東海・近畿・九州地方で栽培されているとのことでした。

子どもたちが植えたフクユタカも、一ヶ月ほどで、写真のように成長しました。9月には、枝豆がたくさん実りそうです。鈴鹿農協様、ありがとうございました。



## 7月4日 歯磨き教室3学年

本校の校医として日頃からお世話いただいているあかつか歯科クリニックの皆様に来ていただき、3年生が歯磨き指導をしていただきました。

汚れが赤く染まる薬で歯の汚れを確認すると、思ったより赤く染まったところがあったようで、子どもたちは驚いていました。

歯と歯の間など、磨き残しやすいところは、どう磨いたらよいでしょうか。子どもたちは、歯科医の先生方に教わりながら、一生けん命に歯磨きに取り組んでいました。歯は健康な生活を続けるために、とてもとても大切です。夏休み中も、朝昼晩と食後の歯磨きをしっかりと続けてくださいね。



あかつか歯科クリニックの皆様、ご指導ありがとうございました。